



研究用試薬

## ヒストファイン

第一抗体

### 抗ヘリコバクターピロリポリクローナル抗体

(動物種: ウサギ)

包装: 50 テスト (6mL)

Code: 413151

製造販売元

### 株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

■特異性および抗原分布: ヘリコバクターピロリ(*Helicobacter pylori*) と特異的に反応する。

■製法: ①免疫原・・・加熱処理したヘリコバクターピロリ株(CH-20 429)。

②免疫法・・・免疫原をウサギに免疫して抗血清を得ている。

■精製法: 免疫したウサギ血清より精製し、免疫グロブリン分画を得ている。

#### 1. 内容

第一抗体・・・抗ヘリコバクターピロリポリクローナル抗体 (動物種: ウサギ)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1 バイアル中に6mLを含む。

#### 2. 使用目的

組織中のヘリコバクターピロリの染色。

#### \*\*3. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

パラフィン包埋切片の場合、前処理(抗原賦活化)としてヒストファイン トリプシン溶液(Code: 415101)にて10分間(37℃)処理することが必要である。

スライド上の組織切片が完全に覆われるように第一抗体を2滴(100 $\mu$ L)滴下し、常温(15-25℃)で30分~1時間インキュベートする。 \*\*

この反応時間は、ヒストファイン シンプルステイン MAX-PO(R)を使用する場合の目安であり、他のキットを使用する場合は、研究者自身が至適反応時間を調べる必要がある。

#### ■参考

ヒストファイン トリプシン溶液(Code: 415101)の代わりにヒストファイン プロテアーゼ溶液(Code: 415231)にて5-15分間(25℃)処理することで良好な染色が得られる場合がある。

#### 4. 貯法

2-8℃保存。

#### 5. 使用上又は取扱上の注意

ヒト由来の検体は、取扱者に感染を引き起こす危険性がある。従って、適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

#### 6. 主要文献

(1) Andersen et al: APMIS 96: 559, 1988

■研究用としてのみ使用すること。